

**特集1：PGT-Aのラボワークのコツ**  
**特集2：日本受精着床学会／日本卵子学会合同シンポジウム2020**

JMORが新たに生まれ変わって、第3号となりました。新生JMORは日本語の論文を主体に、読者の皆様に最新の知識を分かりやすく解説する総説や、日々の研究、臨床のヒントとなるような原著論文、様々な解説の掲載を目的としております。

前号の特集では、最近注目されている着床前診断 (PGT-A: Preimplantation genetic testing for aneuploidy) について、造形の深い先生方にディベート形式による総説をお願いいたしました。本号の特集ではPGT-Aの技術的な要である胚盤胞のTE細胞のバイオプシーから採取検体のチュービングに至るまでの工程の解説を中心に、経験豊富な三名の培養士の方達をお願いいたしました。目から鱗が落ちる新しい技術的な発見が随所にあります。また、日本受精着床学会／日本卵子学会合同シンポジウム2020としてお二方に凍結、顆粒膜細胞につきまして興味深いテーマで御執筆いただいております。新しい知見を得て臨床の現場に役立てて頂ければと思います。

JMORは様々な新しい試みを取り入れ、読者の皆様に愛される雑誌作りを目指しております。こんな特集を組んで欲しい等の御要望をお持ちの方は是非、編集委員会まで御一報ください。

日本卵子学会編集委員会  
平岡謙一郎